

# 大小山山行報告

【山行日】2024年1月14(日) 晴れ

【集 合】岩舟支所P AM 9:00

【費 用】マイカー2台 : 500円

【メンバー】CL:鈴木ユ、SL 大西

青柳、飯口、植竹、大塚、島田、清水、渡辺

【コースタイム】岩舟支所 P9:00 = 阿夫利神社

P9:30/9:40 ~ 西場百観音 10:00/10:10 ~ 西場富

士 10:30/10:40 ~ 妙義山 11:40/11:45 ~ 大小山

12:00/12:10 ~ 阿夫利神社 P12:45/12:55 =

おぐら屋 13:10/14:20 = 道の駅「たぬま」14:35/14:50 = 岩舟支所 P15:10

今日は房総の鋸山山行の予定だったが、前日の雪で暗い中の雪道運転は不安との声があり、急遽近場の大小山山行に変更した。集合時間も9:00とゆっくりにして、安全に配慮し岩舟支所を出発



する。幹線道路には雪は無く、裏道に入ると建物の北側など日陰部分に少し雪が有る程度だった。阿夫利神社の駐車場に着くと満車だったが、丁度帰る車が2台あり神社前に止めることが出来た。トイレとストレッチを済ませたら出発し、道路を歩いて西場百観音へ向かって歩いて行く。天気は快晴で陽射しが暖かく、絶好の登山日和に恵まれて気持ちよく歩ける。西場百観音に着いたら小休止し、衣服調整と水分補給を行う。イノシシ避けフェンスを開けて登山道に入り、住

宅地の裏山をトラバースして歩いて行く。穏やかな日和に恵まれて、春のような陽射しに少し汗ばんできた。途中でイノシシ避けフェンスを再び開けて、北に向かって西場富士への登山道を登って行く。一登りで西場富士山頂に着き、小休止して汗を拭い水分を補給する。ここからはアップダウンを繰り返しながらの稜線歩きが続き、展望が良い場所に出ると下界の雪景色が素晴らしく歓声が上がる。雪が降った次の日しか見られない絶景に、皆さん「登って良かったね～」と満足そう。雪に慣れない人は怖そうに歩くが、このくらいの雪は問題なく歩ける。それでも北側の日陰の登山道には雪が有り、滑らないよう慎重に歩いて行く。妙義山への岩場の登りは結構雪が残っていて、雪が無い岩に足を置き慎重に登って行く。妙義山山頂に出ると360度の大展望で、雪化粧した山々が素晴らしい。眼下には雪に覆われた田畑が広がり、「こういう風景は登った人しか見られないご褒美だね！」と喜んでいた。狭い山頂なので他の登山者に迷惑にならないよう、記念写真を撮ったら直ぐに下山する。



南側の岩場の斜面を下るが、岩に慣れない方達は降りるのが大変そう。ようやく下り切り、5~6m



の岩を登り返すと大小山山頂に着く。こちらは少し広いので大休止し、お菓子や漬物などを食べ腹ごしらえする。ここから少し下って鉄の階段を下ると、大小の文字の下の展望所に着く。ここからの展望も素晴らしく、しばし展望を楽しんだら阿夫利神社に向かって下って行く。すぐ先で男坂と女坂に分かれるが、もちろん下りは女坂を選択する、少し下ると男坂からの道と合流し、ここからは緩やかな石の階段が付けられ安全に下ることが出来る。

舗装された登山道を歩くようになり、右の小沢に石

尊の滝を見れば阿夫利神社の駐車場に戻る。靴を履き替えトイレを済ませたら車に乗り、お楽しみ

の「おぐら屋」ラーメン店に向かう。おぐら屋に着くと大勢の人が順番待ちしている。飯口さんが車から降りて、順番表に名前を書いたが1時間くらい待つようだ。風も無く暖かい陽気なので、店の前のベンチや花壇の煉瓦に腰かけて順番を待つ。45分くらい待って名前を呼ばれ、2テーブルに分かれてラーメンと餃子を美味しくいただいた。無事ラーメンを食べられ、おぐら屋を後にして道の駅「どまんなかたぬま」に向かう。道の駅でお買い物が済んだら帰路につき、予定より遅れて岩舟支所に帰着した。

